

青谷かみじち史跡公園 重要文化財展示室展示資料

2025年3月4日～2025年7月22日

主な新展示資料

だいつきっぽ
台付壺

弥生時代後期(1世紀～2世紀頃)



漆塗りの装飾が美しい木製の台付壺とその蓋。^{ふた}いずれも表面全体に黒漆を塗り、赤漆で同心円文様などを連続的に施しているほか、蓋の上面と壺の脚の付け根に花弁状の文様を描いている。素材となった樹種は、壺はサクラ属、蓋はモクレン属。弥生時代の漆工技術の高さを示す逸品。

かい
櫂

弥生時代中期後葉(紀元前1世紀頃)



船を漕ぐ際に使用された木製の櫂。表面に3匹、裏面に2匹のサメと思われる魚が陰刻されている。青谷上寺地遺跡の海との関りの深さを示す資料。

はしご
梯子

弥生時代中期中葉～中期後葉
(紀元前3世紀～紀元前1世紀頃)



高床式建物の入口への昇降に使用した梯子。1本のスギの木を丁寧に削り出して作っている。弥生時代の建物の具体的な姿を知ることができる資料。